

## シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ <b>実習</b>		
系 列	実 習		
科 目 名	電装整備		
必修・選択	<b>必修科目</b> ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	1年前期	・ 木～金曜日	・ 1時限～8時限
時 限 数	9 1. 2時限（期末試験を除く）		
担当教員名	川向 芳子・西原 潤一・(他1名)		
実務経験	<b>有</b> ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となる電流・電圧・抵抗の測定方法及び電装品の構造についての実習を実施する。		
授業の目的	自動車に使用されている基礎的な電装品の分解・各部品の名称を習得する。		
テキスト	①実習テキスト（学校編集） ②三級自動車整備士（総合）（日本自動車整備振興会連合会 発行） ③二級自動車整備士（総合）（日本自動車整備振興会連合会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	ハンダ作業、サーキットテストの 取扱い説明	ハンダを使いワニ口クリップを作成する サーキットテスト配布・動作確認	①、②、③
第2回	抵抗説明・測定	アナログテスタ、デジタルテスタの取り扱い説明 ボード上回路作成・測定	①、②、③
第3回	電圧説明・測定	ボード上回路作成・測定 国家試験過去問（電気回路計算）	①、②、③
第4回	電流説明・測定	ボード上回路作成・測定 実車での電流・電圧・抵抗測定	①、②、③
第5回	リレー回路	リレーの概要説明 アナログテスタ・デジタルテスタを用いて測定	①、②、③
第6回	まとめ	テスタの取り扱いや測定方法の確認	①、②、③
	ステップ試験（中間試験）	第1回～第6回までの授業内容に関する 実技試験	別途課題
第7回	スタータ・モータ（直結式）	分解手順・名称・役割の習得	①、②、③
第8回	スタータ・モータ（直結式） スタータ・モータ（内接式）	分解手順・名称・役割の習得	①、②、③
第9回	オルタネータ（ファン内装式）	分解手順・名称・役割の習得	①、②、③
第10回	オルタネータ（ファン外装 式）	分解手順・名称・役割の習得	①、②、③
第11回	半導体（ダイオード、トランジスタ）	名称・役割の習得	①、②、③
第12回	コンデンサ・まとめ	名称・役割の習得 レポート提出	①、②、③

	ステップ試験（中間試験）	第7回から第12回までの授業内容に関する実技試験	別途課題
	期末試験	第1回から第12回までの授業内容に関する実技試験	
到達目標	自動車に使用されているスタータやオルタネータ等の構造・名称の習得。 半導体の仕組み・役割の理解。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、ステップ試験（中間試験）並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30%  期末試験の点数 40%  平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点＝可、70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点＝可とする。</p>		
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、 又は、成績評価が60点未満の場合。		